



2021年10月29日

各位

会社名 株式会社中央製作所
 代表者名 代表取締役社長 後藤 邦之
 (コード番号 6846)
 問合せ責任者 取締役総務部長兼経営企画室長 柘植 良男
 (TEL 052-821-6127)

2022年3月期第2四半期累計期間及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、当社は、本日開催の取締役会において2021年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

2022年3月期第2四半期(累計) 連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,950	5	6	5	6.47
今回修正予想(B)	1,740	△55	△30	△30	△38.79
増減額(B-A)	△210	△60	△36	△35	
増減率(%)	△10.8	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	1,442	△64	△21	△43	△56.69

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,500	80	85	60	77.58
今回修正予想(B)	4,100	50	70	60	77.58
増減額(B-A)	△400	△30	△15	—	
増減率(%)	△8.9	△37.5	△17.6	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	3,255	△92	△15	△48	△62.40

2. 個別業績予想の修正

2022年3月期第2四半期(累計) 個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,900	2	1	1.29
今回修正予想(B)	1,740	△25	△20	△25.86
増減額(B-A)	△160	△27	△21	
増減率(%)	△8.4	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	1,404	△34	△56	△73.41

2022年3月期通期個別業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,400	80	55	71.11
今回修正予想（B）	4,000	60	50	64.65
増減額（B－A）	△400	△20	△5	
増減率（％）	△9.1	△25.0	△9.1	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	3,213	△24	72	94.01

修正の理由

当社グループを取り巻く環境としては、国内外での半導体不足による減産や生産調整に加え、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響により、設備投資に慎重姿勢を強めるお客様が想定以上に多く、受注環境は依然として低位な状況で推移しております。売上高においても、当初の売上計画をしていたものが下期にずれするなど、連結・個別ともに予想に届かない見込みとなります。

また、利益面においては、コスト削減に努めてまいりましたが、売上高減少の影響を補うことが出来ず、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益について上述の通り、赤字を計上する見込みとなりました。

また、通期業績予想においても企業の設備投資は、部品調達の停滞や原材料の高騰などの影響により大幅な回復が見込めないことが予想されることから売上高、利益とも前回発表時の通期業績予想の修正を行うものであります。

従いまして2021年5月14日に公表いたしました通期の連結・個別業績予想値を修正することといたしました。また、今後も業績の推移に応じて修正が必要と判断される場合には、速やかに公表いたします。

なお、この業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

※上記予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因により、記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上